

看護研究方法論

単位数（時間数）：1 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：3 年次 開講時期：後期

科目責任者（職位・氏名）：教授・橋本美幸

科目担当者（職位・氏名）：教授・三浦靖彦、講師・牛渡亮

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識と技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：101

■ 授業概要

看護学発展の基礎となる研究の意義を教授する。また、研究過程（研究課題の発見、研究デザインと研究方法の決定、データの分析、研究結果の解釈と報告）、研究における倫理、および看護学に関する研究の成果としての研究論文の読み方に関する基本的知識を教授する。

■ 到達目標

1. 研究の目的と意義を理解する。
2. 基礎的研究プロセス（研究論文のクリティーク、研究課題の発見、研究デザインと研究方法の決定、データ分析、研究結果の解釈と報告）を説明できる。
3. 研究に必要な倫理的配慮について理解する。
4. 量的研究・質的研究の基本を理解する。
5. 研究成果の臨床への適用のプロセスがわかる。

■ 教育内容

看護の統合と実践

■ キーワード

看護研究の意義、研究のプロセス、研究倫理、科学的思考、量的研究、質的研究

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	看護研究とは 研究の進め方1 -研究のプロセス-	【講義】 オリエンテーション 看護学における研究の意義 研究の種類と特徴 研究テーマの選定・リサーチクエスチョン	橋本
2	研究活動の実際	【講義】 研究活動の実践例から研究活動のイメージ をつかむ 事例提供:越納先生、齋藤先生、添田先生、 太田先生	橋本
3	研究の進め方2 -文献検索-	【講義・演習】 文献検索の方法:木村司書 2グループに分かれて行います	橋本
4	研究の進め方3 文献クリティーク(1)	【講義】 文献クリティークとは	橋本
5	看護研究と倫理	【講義】 研究における倫理、ガイドライン、特別な配慮 が必要な対象、研究の手続き	三浦
6	量的研究デザインと方法	【講義】 研究デザインと関係のメカニズム	牛渡
7	量的データの収集方法	【講義】 サンプリングの種類、調査法の検討、データ の種類(尺度、代表値、確率分布)	牛渡
8	量的研究とデータ分析	【講義】 クロス表、オッズ比、統計的検定の手続き	牛渡
9	質的研究デザインと方法	【講義】 質的研究とアプローチ	牛渡

10	質的データの収集方法	【講義・演習】 観察法、面接法、インタビューガイド 講義・演習	牛渡
11	質的データの分析	【講義・演習】 質的データ分析の方法と実際 講義・演習	牛渡
12	研究の進め方3	【講義・演習】 文献クリティーク (2)	橋本
13	研究成果のまとめ1 卒業研究オリエンテーション	4年生の卒業研究発表会に参加し、自分の 卒業研究テーマや研究計画について考える	橋本
14	研究成果のまとめ2 ー研究発表の準備ー	【講義・演習】 研究発表資料の作成の仕方 研究論文の書き方 卒業研究計画(仮)作成と発表(1)	橋本
15	研究成果のまとめ3	【講義・演習】 卒業研究計画(仮)作成と発表	橋本

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

成績評価は、授業時の参加態度と卒業研究発表会の参加状況(20%)、課題(牛渡 30%、橋本 50%)、により評価する。総合して60%以上で単位を与える。

■ 課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法

課題のフィードバックは、授業内で解説する。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
基礎看護学 ④ 看護研究

■ 参考書・参考資料等

- ・適宜、授業中に資料・参考書を提示する。

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・授業 1 コマにつき、事前・事後学修として90分程度必要とする。
- ・講義の事前学修として、指定された範囲の教科書を読み、内容をノートに要約すること。
- ・提示される学習課題については、内容を理解し不明な点については調べ、考察を加え、指定された日までにまとめ提出すること。

■ 担当教員からのメッセージ

看護学の学問的基盤となる研究について学習します。

4年次の学習(卒業研究)の基礎となります。しっかり予習と復習をしましょう。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

橋本：研究室 10 hashimoto★iwate-uhms.ac.jp

牛渡：研究室 21 ushiwata★iwate-uhms.ac.jp

三浦：臨床倫理研究センター長室 miura★iwate-uhms.ac.jp

必要時、事前に必ずアポイントメントをとってください。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師、医師

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

有

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

司書

■ 実務経験を活かした教育内容

研究活動の実践を踏まえ、具体的な研究の例を提示して学生の理解を深める内容となっています。